

2 日目 (11 月 26 日) のんきさんのレクチャーノート
コマ撮りアニメアプリ操作の復習、いろいろな表現技法のアニメ

<キーワード>

いろいろなアニメーションをみる。

砂のアニメーション

切り絵アニメーション

お菓子のアニメーション

アルミホイルのアニメーション

家にあるモノがアニメーションのキャラクターになる。

<レクチャーで話されたこと>

1 日目の練習アニメをふりかえり、技術的なアドバイスをした。

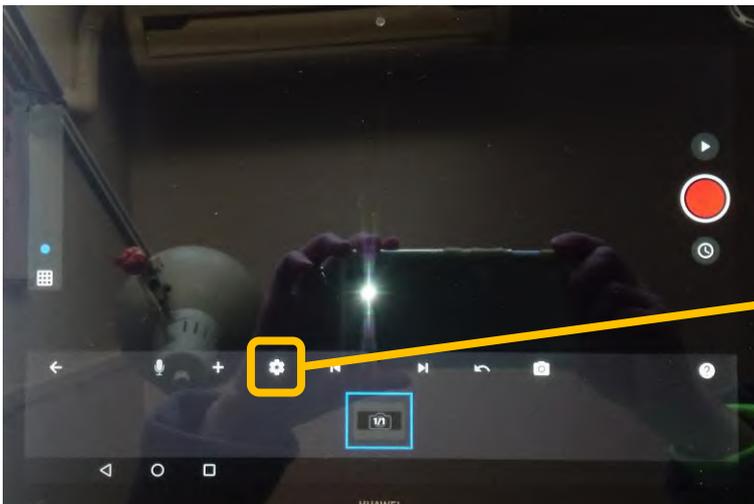
画面サイズ(画質)を同じにする

グループで共同制作するときは、画面サイズ(画質、がしつ)を同じにすると編集(へんしゅう、仕上げ)が楽になる。
スマホならば、カメラをヨコ向きにするか、タテ向きにするかを決めておこう。

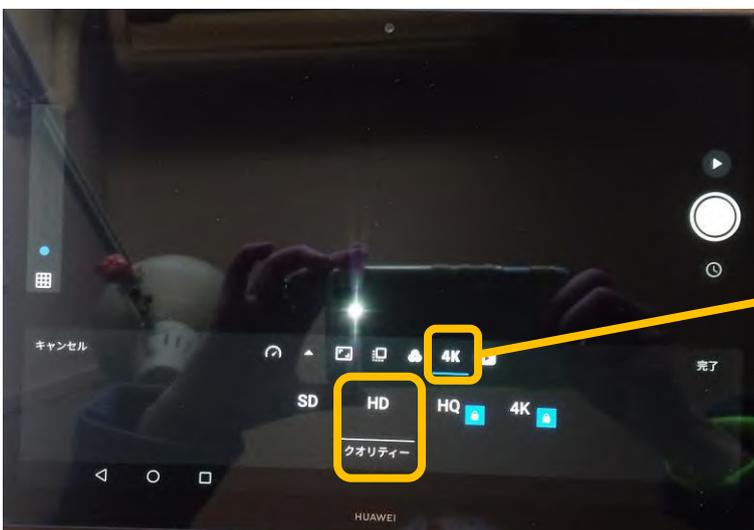
ストップモーションスタジオで画面サイズ(画質)の調整

撮影モードにある、歯車(⚙)マークを選ぶと、撮影の速度(はやさ)を変えられると、1 日目に説明した。

歯車(⚙)マークで、画面サイズ(画質)が変えられる。



歯車(⚙)マークをタップする
マークの位置は iOS か Android か、アプリのバージョンでことなる



「4K」を選ぶと
SD、HD、HQ、4K の画面サイズがでる
無料版は SD か HD が選べる
みんなのメッセージアニメでは、「HD」を選ぼう
練習で画面サイズが小さかったのは SD だったのだろう

いろいろなアニメーションを見てみよう。

砂のアニメーション(サンドアート・アニメーション)

のんきさんの友だちのアニメーション作家、若見ありさ(わかみ ありさ)さんは砂のアニメーションをつくっている。砂のアニメーションと、そのつくり方(メイキング映像)を見てみよう。

https://youtu.be/Y7rNaciuhbA?si=CwA4pgbqyB-9_BAO



若見さんは、砂の大きさや色をたくさん用意して撮影している。白いプラスチックの板の上に砂を乗せて、砂を加えたり、かたちを変えて、動きをつくる。プラスチック板の下からライト(光)を当てる。カメラは上において、下向きに撮影する。



参考) 小さなライトボックスとスマホでも、砂のアニメーションを撮影できる



アニメーション作家 飯面雅子(いいめん まさこ)さん

http://snaplite.jp/interview/sand_art/
(ライトボックス販売会社のPR サイト)

切り絵アニメーション

アメリカのアニメーション作家、Trisha Zemp (Patricia Smith)さんが制作した、切り絵(きりえ、切り紙)のアニメーション『Lift』を見てみよう。

紙のほかに、糸なども使っている。

<https://youtu.be/hWDPNeQue6l?si=AnfAiqpf20p0carc>



参考) Trisha Zempさんのウェブサイトで、いろいろなモノをつかったアニメーションのデモリールを見られる>>

<https://www.trishazemp.com/>

https://www.instagram.com/trishazemp/?utm_source=ig_web_button_share_sheet&igshid=OGQ5ZDc2ODk2ZA==

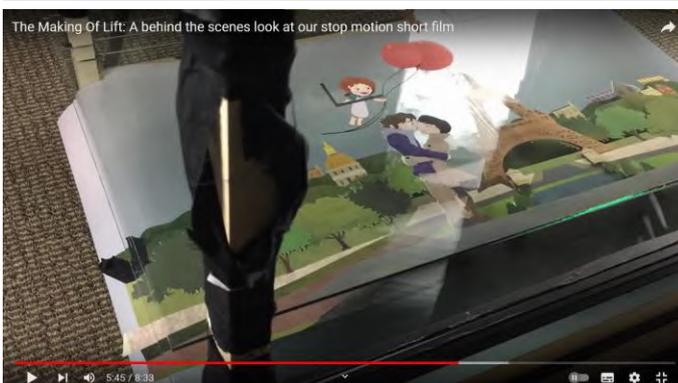
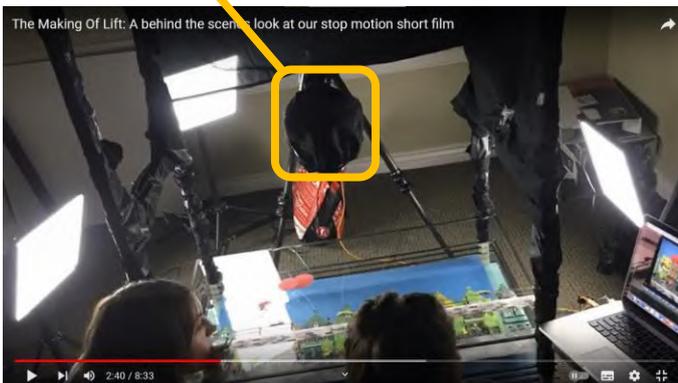
切り絵アニメーションの作り方がおもしろい。メイキングビデオも見てみよう。

<https://youtu.be/Qe6KquFAjY?si=devVeTERzu1-pChb>

キャラクターのデザインができると、からだの動きを変えた、たくさんのパーツをレーザープリンターで印刷している。



複数のガラス板(マルチレイヤー): ガラス板の上にキャラクターを置き、別のガラス板には背景などを置いて、ガラス板の上部に置いたカメラで撮影する。



お菓子をを使うアニメーション

オーストラリアの作家、Matthew Bunin さんがチョコボール、キャンディなどを人間のよう動かしたアニメーション。
 ひとの手も入ってくる。

カメラを上置いて上から撮影したり、横置いて斜め横(ななめ)から撮影している。

<https://youtu.be/3DFzjP6PbnU?si=vcvDuAlX6AuUrVMD>



参考) Trisha Zemp さんの YouTube >>

<https://www.youtube.com/user/MatthewBuninFilms>

アルミホイルを使うアニメーション

英国の Jacob Varley さんのアニメーション。

アルミホイルは立体のキャラクターなどをつくりやすそう。

丸めたら、水の表現ができるかも。

<https://youtu.be/tUPOCu6pj8M?si=DC0oWVYHZVA6inJE>



家にあるモノでキャラクターになりそうなモノを探してみるとよい。

のんき(荒井知恵)

YouTube、Vimeo、Instagram などに世界のアニメーション作家が制作したアニメーションが公開されている。

参考)

<https://www.nfb.ca/animation/> カナダ国立映画制作庁(NFB) アニメーション部門のウェブサイト >>

カナダは2つの公用語(英語とフランス語)がある上に、先住民は移民とは異なる文化、言語を持っている。そのため、カナダの連邦政府はコミュニケーションのために映像(アニメーション、ドキュメンタリー映画)を活用してきた。

<https://www.threads.net/@stopmolovers> stopmolovers

<https://www.youtube.com/c/joshharmon> いろいろなモノからサウンドをつくる Josh Harmon さん